



The Japanese Black Tea

国産紅茶 (和紅茶)とは



日本の茶畑で摘まれたお茶の葉で作った紅茶は、海外産よりもすっきりとした味わいです。



国産紅茶の歴史

1874年

政府による紅茶製造奨励開始。

1909年

三井合名会社農林課(現三井農林)が製茶事業に進出。

1937年

輸出量が6400トンとなり第一次ピークをむかえる。

1955年

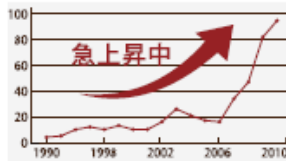
戦争によって落ち込んだ生産量が8500トンの最高値を記録。

1971年

紅茶輸入自由化によって生産量激減。

2006年以降

緑茶消費の減少などを背景に再び紅茶生産量が増加中。



国産紅茶の特徴

品質

渋みが少なく、品種によって香味に特徴あり。

安全性

国内法に準拠した製法。生産者の顔も見え、信頼感が高い。

主な品種

やぶきた

軽い口当たりとすっきりとした後味に、林檎様の爽やかな香りとのほのかな花密香。

べにふうき

ほどよい渋みと力強い味わいを引き立てる、奥深く甘い果実香と強い余韻が特徴。

べにひかり

軽い口当たりとすっきりとした後味に、鼻に抜ける高い清香が調和。

藤かおり

渋みの少ないマイルドな口当たりで、ジャズミンとスミレの優しい香りと甘い味わい。

さやまかおり

軽い口当たりとすっきりとした後味、青さのある爽やかな香りが魅力。

べにほまれ

ほどよい渋みと力強い味わい、すっきりとした後味に、奥深く甘い果実香。



1909年から100年以上に渡り紅茶に関わってきた三井農林では国産紅茶100%使用した紅茶飲料、「ふじえだ和紅茶」を販売しています。

静岡県藤枝市で育ったお茶を生産者と共に紅茶に仕上げ、美味しい紅茶飲料に仕立てました。

こちらで販売中

amazon

三井農林株式会社